

大会宣言

私たちは本日、連合大阪第17回定期大会を開き、第27・28年度運動方針を確認した。方針を貫く考え方は、引き続き「大阪において『働くことを軸とする安心社会』をどう実現するか」である。

そのため以下の4点を運動の力点として取り組むことを決めた。

1点目は、連合大阪の組織強化・拡大である。

結成25周年を経た連合大阪運動における“力合わせ”の質を向上させなければならない。そのためには、具体的な行動の実践を通じて構成組織、地域組織との連携、信頼をより強化する。加えて「1000万連合」の実現に向け、大阪における取り組みを強化する。

2点目は、雇用・労働を中心とする政策実現活動である。

「働くことを軸とする安心社会」を府域に実現するため全自治体への政策要請活動を強化する。加えて大阪の良質な雇用の実現に向け諸取り組みを強化する。

3点目は、連合大阪政策の実現に向けた政治活動と幅広い府民連携の強化である。

連合大阪の政治活動の意義を組織全体であらためて共有するとともに、志を同じくする政治家・政党との連携を強化し、幅広い府民の結集軸の任を担う。

4点目は、安心して働ける環境、労働条件の向上である。

春季生活闘争の社会的価値を高めつつ、大阪に働くすべての仲間の労働環境の改善に向けた諸取り組みを強化する。

一方、国においては、第189通常国会において、不安定雇用者を増やす労働者派遣法の改悪や、国民全体の理解が進まない中、違憲の指摘のある安全保障関連法を強行成立させた。安倍政権の暴挙・暴走にストップをかけなければならない。そのためには、幅広い府民連携で声を上げ続けるとともに、来夏の参院選においては、大阪選挙区では尾立源幸候補の、そして比例区では、連合推薦12候補者の必勝を勝ち取らなければならない。

また、大阪においては、「排除と対立の政治」から脱却しなければならない。大阪における政治的環境を一度落ち着かせ、大阪の今を冷静に見つめ、将来に向けて真摯かつ建設的な議論を民主的に進めることが不可欠である。そのためには11月22日に施行される大阪府知事選挙、大阪市長選挙において、私たちが支援する候補者の勝利に全力を挙げる。

「働くことを軸とする安心社会」を目指す、私たちの連合運動、連合大阪運動の真価が今、問われている。私たちは、連合組織の結束力、単組や職場における連合運動の浸透度合い、さらには一人ひとりの力が集団の力へと高まっているか、等について自らに問い、組織の「体幹強化」を絶えずはかっていかなければならない。

こうした取り組みを具体的かつ着実に積み重ねながら、働く仲間のディーセントワークの実現、連合第4次男女平等参画推進計画における「モデル地方連合会」としての目標達成など、「働くことを軸とする安心社会」に向け連合大阪組織一丸となって力強い歩みを続けていく。以上宣言する。

2015年10月23日

連合大阪第17回定期大会